

【長野県】株式会社山翠舎 ~空き家が解体される際の廃材を「古木」として活用するビジネスで、空き家問題と廃棄物削減・脱炭素社会の実現に貢献~

企業概要

URL: <https://www.sansui-sha.co.jp/>

- 地元で社会問題化していた「空き家の古民家」に注目。日本の伝統的な工法で建築された古民家には、現在では入手が困難な樹種や大きさの構造材が使われており、これらの古材にまつわる歴史や想い、ストーリーをもとに「古木（こぼく）」という新たな付加価値材をつくり、家具や店舗内装等に活用するビジネスを展開。
- 古木を活かした店舗デザインから施工まで一貫したサービスを提供している。
- 長野県で木工所として創業、現在は3代目社長が引き継ぐ。

企業情報	
企業名	株式会社 山翠舎
代表者	山上浩明
設立年	1970年
資本金	3,000万円
従業員	25人
本社所在地	長野県長野市大字大豆島4349-10
事業概要	建築
電話番号	026-222-2211



代表取締役 山上氏
(同社提供資料より)

SDGs達成を通じた取組

【経緯・背景等】

空き家となった古民家が社会問題化し壊されている現実に直面し、地元で建築を扱う企業として地域課題の解決に貢献したいとの思いから。従来は木材を輸入していたが、地元の古民家の「古木」を活用することが解決策となると考えた。前の持ち主の歴史やストーリーを紡いだ「古木」に特化し、付加価値材としてアップサイクルを実現することで他社との差別化にも成功している。

【具体的な取組、製品・サービス】

- 古民家から入手できる「古木」を活かした店舗のデザインや施工、また古木を使った家具の製作・販売。
- 廃材となる可能性のあった木材の再利用に留まらず、アップサイクルによる廃棄物削減と脱炭素化に貢献。
- 古民家の移築やリノベーションによる再活用と地域資源の活用。
- 古木を活かしたパートナーシップの構築や古木を生かした coworking space の運営。
(施工した飲食店間連携「KOBOKU倶楽部」、古木施工ができるパートナー企業連携、地元自治体との連携)

【取り組んだ成果・効果】

- 古木を使った設計施工受注は12年で約500件（2021年時）、地元長野県だけでなく首都圏からの発注も増加。「古木」というブランドを確立しつつある。
- 古木を使った家具は大手への導入実績のみならず、パリで開催されたメゾンエオブジェにも「SANSUI」ブランドで出展。
- 職人の若返りが進み、20-30代の職人が5割を占める。
- 2021年 信州SDGsアワード受賞。2022年 日経新聞社スタ★アトピッチJapan エヌエヌ生命賞受賞。
- ガイアの夜明け(テレビ東京) 2023.2.3放映。“捨てるもの”からビジネスをつくる(あさ出版) 2023.2.7出版。

【貴社にとってのSDGsと、その展望】

- 今後は古木を国内のみならず、海外にも展開していきます。そのために特許や商標などの知的財産権を活用しながら、国内外の企業では真似できない「オンリーワンのブランド」を構築し、日本の古き良き財の付加価値をさらに高め、世界の人に知って使っていただくことを目指します。



古民家を coworking space に改装した「小諸 合間 (aima)」



ミシュランのビブグルマンを獲得した荒木町「ろっかん」



古木の梁、柱を5,000本以上ストック



作業を行う経験と知識を持った職人たち



トレーサビリティ管理された古木
(写真：同社提供資料)



海外へ展開する「SANSUI」ブランドのベンチ